

平成23年6月3日

平成23年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第4回 6月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

前回より増加した。前年同時期の出現量よりやや少ないものの、平年(45.3個/曳網)の約3倍であった。

前年	平成22年6月1日	(7点の平均)	178.7 個
前回	平成23年5月18日	(17点の平均)	66.7 個
今回	平成23年6月1日	(7点の平均)	140.7 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

前回より増加した。前年同時期の出現量より少なく、平年並み(15.5尾/曳網)であった。

前年	平成22年6月1日	(7点の平均)	58.6 尾
前回	平成23年5月18日	(17点の平均)	10.5 尾
今回	平成23年6月1日	(7点の平均)	14.5 尾

○プランクトン調査

カイアシ類(カタクチイワシの重要な餌)が優占しているものの、全体的にプランクトン量が少なかった。

次回の調査は6月16日(木)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(6.1)

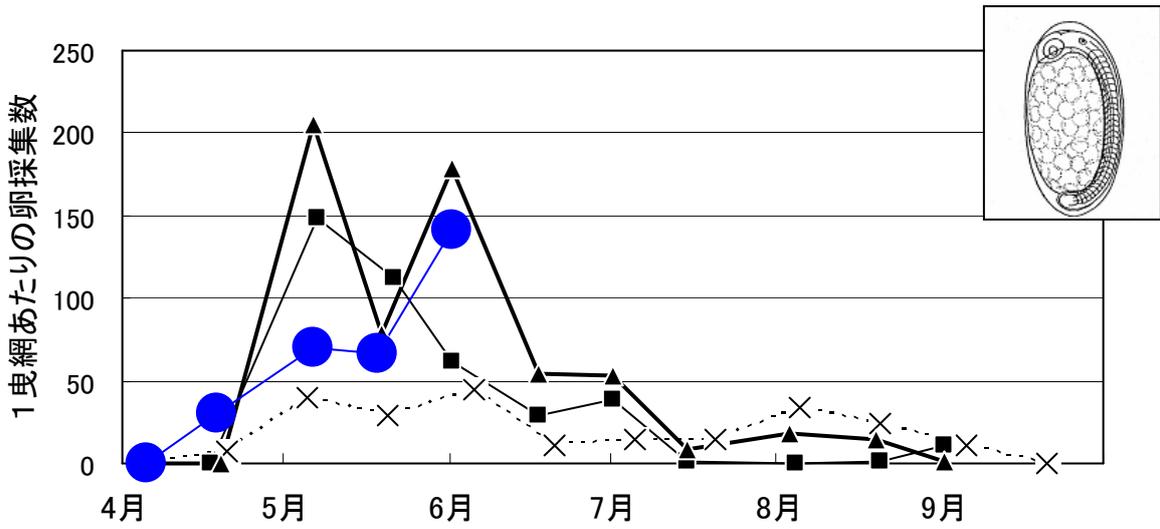


下側がカタクチイワシ稚仔魚を示す。いずれも1曳網当たりの数

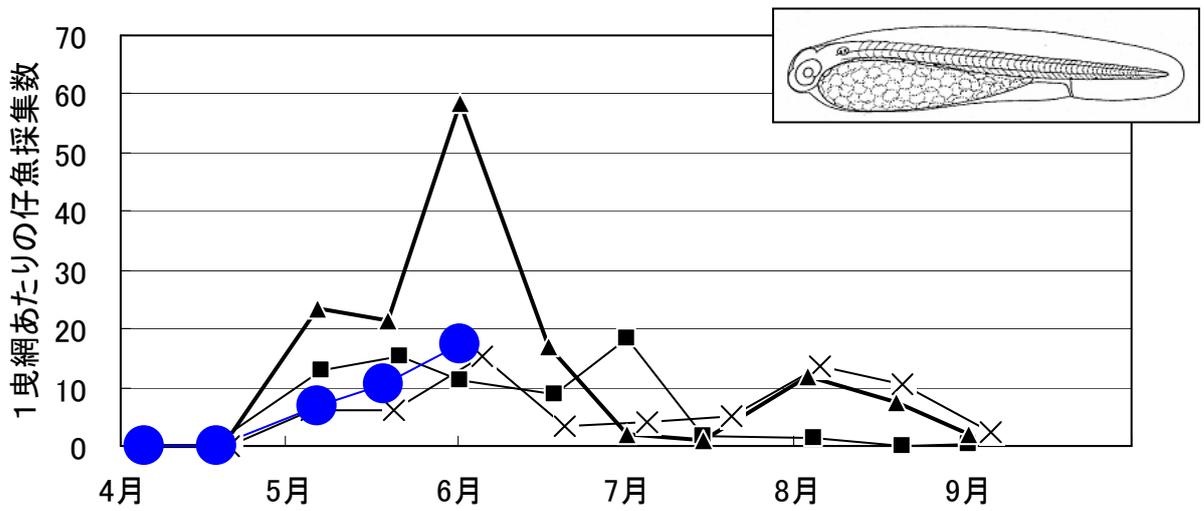
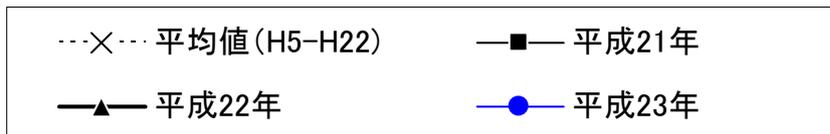
21 ← 卵数



5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

